

平成 24 年度 第 1 回 新潟市水道事業経営審議会 会議概要

日時 平成 24 年 8 月 30 日（木）午後 2 時から

場所 水道技術研修センター2 階 会議室

	<p style="text-align: center;">————— 開会 14：00 —————</p> <p>ただいまから平成 24 年度第 1 回新潟市水道事業経営審議会を開催する。 議事に先立ち、8 月から新たに審議会委員として就任いただいた品田ヒサエ委員を紹介する。</p> <p>(品田委員あいさつ)</p> <p>続いて事務局から報告する。 本日は全委員に出席いただき、会議は有効に開催できる。 また、公開会議のため、今現在 1 名の傍聴者の方がいる。 なお、議事録作成のための録音を了承願う。</p> <p><追加資料の確認></p> <ul style="list-style-type: none">i. 「新潟市水道事業事務事業評価について」 (事前配付済みの資料 8 の添付資料②)ii. 「放射性物質を含む浄水汚泥対策の対応状況」 <p>まず、会長から挨拶をいただいて、引き続き、議事進行をお願いする。</p>
会長	<p>今年は、冬に雪が多く降り、多分夏は暑いだろうと思っていたら、そのとおりであった。この暑さにより水道の給水量も随分と増えているかと思ったら、意外にそうでもないと聞いた。この辺りの説明もあろうかと思うが、水道事業にかかわる事項について、ユーザーの立場として、またそれぞれの観点から忌憚のない意見をいただくというのがこの会議の趣旨である。活発な議論をお願いする。</p> <p>それでは、次第に沿って議事に入る。</p>

議事	
財務課長 業務課長	<p><議題 1> 9 月市議会提案事項について</p> <p>○平成 23 年度決算概況・監査委員意見等について説明</p> <p>○水道料金の日割計算方式導入に伴う給水条例改正及び補正予算について説明</p>
A 委員	<p>(質疑応答)</p> <p>流動比率が大変よい値だが、その反面、果たしてそれだけ手持ちの現金預金が必要なのかどうか。一般企業では、有効利用を図るとか、あるいは債務があれば繰り上げ返済して、多すぎず少なすぎずというのが理想。</p> <p>この資金を使って、借入先に対する繰り上げ返済ができないか。</p> <p>また、手持ちの現金預金は、年間を通して常にこの程度が必要なのか。</p>
財務課長	<p>手持ちの現金預金については、3 月 31 日時点で 127 億円余ある。また、年間を通して常に 100 億円程度は準備している。</p> <p>借入先への繰り上げ償還は、基本的に、経営状態悪化のおそれがあったり高金利対策などが必要な事業体にしか認められず、本市はこれに該当しない。</p>
A 委員	<p>民間からの借り入れ分もあるが、それについてはどうか。</p>
財務課長	<p>平成 19・20 年度には、特例制度により保証金免除の繰り上げ償還が認められ、金利 6%以上のものが対象とされたため、これを償還した。この際、借り換え分の引受先として民間金融機関を利用した。</p>
A 委員	<p>繰り上げ償還は、制度上難しいということか。</p>
財務課長	<p>繰り上げ償還の要件緩和を要望しているが、今のところ難しい状況である。</p>
A 委員	<p>平成 23 年度の新潟市の「職員一人当たりの営業収益」が政令市平均値を下回っている。一方、「料金収入に対する職員給与費の比率」は平均値並みである。これは、職員一人当たりの給与が平均と比べて低いということになるのか、この辺りの整合性はどうか考えたらよいか。</p>
技術部長	<p>例えば原価中の費用構成でみると受水費は新潟市の平成 23 年度が 4.33 円/m³、政令市平均が 28.27 円/m³である。受水とはきれいになった水を買っているということで、相対的に受水費が高いところは自前の浄水場が少ないということである。都市により、このような相違があり、職員一人当たりの生産性などの指標は一概に単純比較することになじまない。</p>

<p>業務部長</p>	<p>政令市では、さいたま市や堺市などは、ほぼ 100%用水を買っているので、このような生産性指標は良い値となる。</p> <p>営業収益のほとんどは給水収益である。このため「職員一人当たりの営業収益」は、各都市の料金水準が大きく影響する。本市の料金水準は、政令市の事業体の中では中位より安い方である。このため、この指標を算出するにあたって、分子である営業収益が低い値となり、結果として指標値が低く算出される。</p>
<p>財務課長</p>	<p>料金水準について、供給単価を見ていただきたい。</p> <p>供給単価は、料金収入を有収水量で割った値であるが、平成 23 年度の本市の値が1立方メートル当たり 142.89 円/m³であるのに対し、平成 22 年度の政令市平均は 168.66 円/m³である。このことから本市の料金水準が低いことがご理解いただけると思う。</p>
<p>A 委員</p>	<p>キャッシュフロー計算書において、前払金・前払費用が、平成 21 年度から 23 年度にかけて増え続けている。この増加の要因は何か。</p>
<p>財務課長</p>	<p>ほとんどが前払金であるが、平成 23 年度は、複数年契約の大規模な工事の契約がいくつかあり、これにより前払金が増えた。</p>
<p>A 委員</p>	<p>平成 22 年度は平成 21 年度と比べて 6,300 万円増えて、平成 23 年度はさらに 2 億 8,800 万円増えている。工事の手付けを積み上げた結果が年を追って増えているということか。</p>
<p>財務課長</p>	<p>前払金は工事契約者からの申請に基づき支払うが、現在、ほとんどの工事契約者が前払金の支払いを申請している。以前は、これを申請しない契約者も少なくなかった。</p>
<p>A 委員</p>	<p>工事の前払金が増え続けているということで了解した。</p>
<p>B 委員</p>	<p>雑収益は、震災の救援経費等という説明だが、もう少し具体的に聞かせてほしい。</p>
<p>財務課長</p>	<p>東日本大震災と新潟福島豪雨の応援活動経費が 5,516 万 1,000 円であり、8,000 ベクレルを超える放射性物質を含む浄水汚泥にかかる処理費用としての国からの受託金が 3,565 万 7,000 円である。</p>
<p>B 委員</p>	<p>東京電力へ賠償請求した分は未入金なのか。</p>
<p>財務課長</p>	<p>平成 23 年 11 月 30 日までの費用について東京電力へ請求し、現在、内容について協議中である。</p>

B 委員	資料を見ると給水人口が減少している。一方で給水世帯数が増加している。この理由はなにか。
財務課長	世帯が細分化している。一世帯当たりの人員が減少していることにより、給水人口の減少にかかわらず世帯数が増加している。このため給水契約口数は増加しているが、一世帯あたりの使用水量は減少している。
B 委員	使用水量はずいぶん減少しているが、節約も影響しているのだろうか。
財務課長	節水意識の浸透と景気の低迷も影響していると考えている。
経営企画室長	詳細な分析は難しいが、例えばリフォームして、トイレ、風呂などを節水型のものに入れ替えただけでも使用水量が格段に減少する。また、事業活動の縮小の影響もあると思う。
C 委員	原価の費用構成内訳について、薬品費が政令市の平均よりも高い。先ほど話もあったように、他都市に比較して、受水が少なく浄水場での処理水量の割合が多いことや活性炭処理を行っていることが要因か。
技術部長	そのとおり。
C 委員	特別水質が悪いから薬品を多く使っているということではなく、基準の数値よりも自主基準を高めて、よりきれいな水づくり、安心な水づくりのための工夫が、相対的に薬品費の原価構成が高いことの一因であると理解してよいか。
経営企画室長	安心・安全な水、おいしい水づくりのためにレベルを上げているという捉え方をしていただければよいと思う。
C 委員	条例改正について、料金の名称変更が平成 25 年 1 月 1 日からであるのに対し、日割計算の導入が平成 25 年 7 月 1 日からと、半年ほど遅くなっている。事前準備に要する期間の違いか。
業務課長	日割計算導入のための電算システムの修正が最低 9 か月かかる見込みである。一方、料金の名称変更は、伝票等の在庫を見ながら進め、その目途が立つ 1 月 1 日から実施できると考えている。
C 委員	了解した。

D 委員	<p>放射性汚泥の保管費用などは今後も発生すると思うが、これら費用は継続的に国や東京電力へ請求し、支払いを受けることになるのか。</p>
技術部長	<p>基本的にはかかった費用の 100%を国または東京電力から補償してもらおうべく話をしている。8,000 ベクレルを超える汚泥の保管費用については国から一旦受託料として収入したので、今後は、この汚泥を最終処分場か中間処分場に移動させる費用が発生した場合に、その分を請求することになると思う。</p> <p>100 ベクレルを超え 8,000 ベクレル以下の汚泥については、これからも保管していかなくてはならないので、その費用について東京電力へ請求する。</p> <p>100 ベクレル以下のものについては、セメント原材料として使用してもらうため県内セメント会社やセメント会社がある糸魚川市と協議中だが、これらにかかる費用についても今後東京電力へ請求していく考えである。</p>
経営企画室長	<p>放射性汚泥対策の対応状況について、別に用意した資料で説明する。</p>
浄水課長	<p>◆放射性物質を含む浄水汚泥対策の対応状況について説明</p>
E 委員	<p>今の説明に補足して現在の状況について話をさせてもらう。このたびの原発事故の求償について、水道に関しては厚生労働省と日本水道協会が、東京電力の担当部署とやりとりをしている。</p> <p>人件費、広報費、検査費などについては、他の業種との整合性を図りながら調整したいとのことで、今現在、結論が先延ばしとなっている。</p> <p>そして、次の段階として、平成 23 年 12 月 1 日からその年度 3 月 31 日までの分について、東京電力が賠償請求の受付を開始する旨が、本日 8 月 30 日付で厚生労働省から水道事業者に対し通知されることになっている。</p>
議長	<p>いずれにせよ、原発事故に関してかかった経費は何らかの形ですべて求償されて、時間差はあるが、最終的にはきちんと補償されると理解してよいか。</p>
技術部長	<p>現在、本市だけではなく、県内で足並みをそろえてきちんと請求すべく協議している。県内では検査費用や人件費についても請求はしている。</p>
C 委員	<p>国から収入した汚泥の保管に係る約 3,600 万円は、保管施設の設置費用とものことだが、一般的に、モノを倉庫業者に預けると、数量×日数というように保管期間に対して請求される。それに対し、この汚泥の保管料は 1 週間保管するも 10 年保管するも同じ額なのか。保管を続けることに関し、安全確認だとかの管理費用はかかるのか。</p>

技術部長	浄水場自体、一般の人が自由に入れる施設ではないため、保管に関し継続的に発生する費用はない。
C 委員	了解した。
F 委員	<p>平成 24 年度の補正予算第 1 号に関して、水道料金計算方式の変更に係るシステム改修費が約 1 億 6,000 万円とのことである。これは総事業費のほぼ 1 %に相当し、大変高額に見える。</p> <p>そこで 1 点目の質問として、この改修費の中には、現在検討課題になっているクレジットカードによる料金支払いなど他の機能付加のための改修費も含んでいるのかどうか。</p> <p>もう 1 点、この額は、予算計上にあたり、システム開発業者が見積もった額を基本としていると思うが、実際の契約に当たって、さらに精査をしていく等の考えはあるか。</p>
業務課長	<p>まず、1 点目の質問だが、他の改修要素は入っていない。あくまでも日割計算のための改修費用だけである。ただし、日割計算は水道料金のみでなく、下水道使用料も同様とすることから、下水道使用料のプログラム部分の改修費を含んでいる。</p> <p>2 点目については、大きな額でもあることから、ご指摘のとおり、契約にあたっては、お客さまに対し説明できるようなさらに十分な精査が必要と考えている。</p>
F 委員	了解した。
議長	これはソフトだけの改修費用なのか、それともハードの変更等も必要なのか。ソフトだけだとしたら高すぎる。
業務課長	今回の改修では、検針の部分や料金計算プログラム並びに料金計算画面など、システムの基幹の部分の改修するため、大変影響が大きい。そのために時間と費用がかかる。
議長	これは入札になるのか、それとも、システムを最初に作った会社に対して指名で発注されるのか。
業務課長	<p>システムの開発業者との随意契約を考えている。</p> <p>今は見積もりの段階で 1 億 6,000 万円と提示されているが、契約に向けて十分に精査し、コストの妥当性を検証していかなければならないと考えている。</p>
議長	是非、十分に精査してほしい。

<p>総務課長 業務課長</p>	<p><議題2> お客さま満足度調査について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ お客さま満足度調査結果速報等について説明 ○ クレジットカード収納に関する調査結果と検討経過について説明 <p>(質疑応答)</p>
<p>議長</p>	<p>クレジットカード収納の実施に関して「実施した方がよい」と答えた方が 291 人いて、「導入されれば利用する」という方が 201 人いる。「利用する」という人が 90 人少ないが、これをどう考えるか。「実施した方がよい」と言っているのだから、実施となれば使うというのが普通だと思うのだが。この 90 人は他人のことを考えてくれていて、自分自身は利用することはないが、窓口は広い方がよい、ということなのだろうか。</p>
<p>業務課長</p>	<p>この度の調査結果だけでは何とも言えない。</p>
<p>議長</p>	<p>「満足度」と「期待度」と並列で聞いている部分があるが、「満足度」については、例えば「あなたは水をおいしいと思うか」と聞いたら「満足だ」「不満足だ」ということで、よく分かる。一方、「期待度」と言われると答える人によってとらえ方が異なるのではないか。そもそも期待度とは何か。解釈が難しいところがある。</p> <p>「満足していないから期待する」ということになるのか、「満足していないし元々期待もしていない」ということになるのか、改めてよく考える必要があると思う。</p>
<p>G 委員</p>	<p>調査対象の 3,000 件という件数の根拠は何か。前回と同様に今回も 3,000 件とした理由を聞かせて欲しい。もう一つ、結果の公表について、どのような形で、どこで何を使って公表する予定か。</p>
<p>総務課長</p>	<p>統計的には、本市の給水世帯数に対し 1,500 件程度の回答数があれば、誤差範囲が 2.5%以内に入る。この 2.5%以内の誤差範囲を求めて、回収率 50%として逆算した結果が調査対象件数の 3,000 件である。実際は回収率が 50%を割ったため、誤差範囲が若干増加したといえる。</p> <p>公表の件については、基本的に、前回の結果はすでにホームページで全部公開している。今回はホームページに加えて、当局の広報紙である「水先案内」等にも掲載する予定である。ただし、広報紙は紙面が限られているため、これには調査概要を掲載し、詳細についてはホームページで見てもらおうような形を考えている。</p>
<p>G 委員</p>	<p>事例を挙げて選択させる質問と空欄に記入を求める質問とかある。これを区分した理由はなにか。</p>

総務課長	<p>質問の中身を見たときに、事例がなくても共通のイメージが浮かぶようなテーマについては、逆に誘導しないように取替えて事例は入れないようにした。</p> <p>施策的な内容の質問では、問いかけの内容が不明確となる恐れがあるので、目線が同一な形でアンケートがとれるように事例を提示した。</p>
G 委員	<p>了解した。</p>
H 委員	<p>「水道局に対するご意見について」という自由記入欄について、記入件数が多かったという話があった。この内容についても公表されるのか。</p>
総務課長	<p>前回のアンケート結果の公表においては、自由意見欄の内容は公表していない。今回は、内容に応じてある程度グルーピングして公表できればよいと考えている。原文のオリジナルのまま全てを掲載するのはあまり適当ではないと思っている。</p>
議長	<p>自由意見欄については、原文でなくてグルーピングして、例えば「もっと水道料金を安くしてほしい」という意見が何件あったとか、内容ごとにある程度まとめて、それが何件、というような方法で公表してはどうか。また、グルーピングには馴染まないものの、見るべき点のある指摘や要望などについては、それを取り出して、分かりやすい文言に書き換えて公表するのがよいのではないか。</p>
D 委員	<p>アンケートに答える立場になってみると、項目が重すぎると思う。内容についても、何を聞きたいのかが伝わりにくいものもある。各世帯において若い方が記入された場合が、想定よりも多かったとのことだが、年配の方にとっては面倒に感じられるような量や内容だったことも一因ではないか。</p> <p>設問の選び方をもう少し考えていただければ、回収率もアップすると思う。</p> <p>水道モニターの方であれば、このくらいのことはきちっとやってくれると思うが、一般市民の方を対象とするのであれば、もう少し答えやすいやり方を考えていただきたいと思う。</p>
総務課長	<p>前回は、設問が8項目であったが、今回はいろいろ取り入れた結果、過大なものとなり、その結果、回収率の低下に繋がったのではないかと反省している。委員の指摘を次のアンケートに是非、反映していきたいと考えている。</p>
議長	<p>些細なことだが、「水道料金の水準を維持する」という言い方がされている。一般的に「水道料金を安くするように努めている」と言えばいいものをなぜ水準という言葉を使うのか。事業者側からは「水準」なのだろうが、一般的な我々にとっては、ただ安いか高いか、それだけのことである。水準という言葉が使われると答える方は構えてしまうところがある。</p>

D 委員	<p>それに関連して、高いか安いかを選び、それぞれの理由を選択肢から選ぶわけだが、この選択肢からの回答を一つに限定している。全部に○を付けたくなる人もいる。一つにこだわる必要はないと思うが。</p>
C 委員	<p>前回のアンケートも回答を一つに限定したから、それとの比較をするためだとも思うが。</p>
経営企画室次長	<p><議題3> マスタープラン後期実施計画進捗状況について</p>
E 委員	<p>(質疑応答)</p> <p>全体的にマスタープランは、掲げた目標に対して順調に進捗していると見た。引き続き、計画に掲げた目標に向けて確実に取組を進めていただきたいと思う。ただし、個別には気になる点があるので、何点か申し上げておきたい。</p> <p>一つ目は意見であるが、平成 23 年度の 1 日最大給水量 33 万 8,000 何 m³は、計画 1 日最大給水量 44 万 m³に「達していない」と表現されている。しかし、1 日最大給水量というものは平均給水量に対する変動幅を想定したものであるため、「達成」させるものではないと考える。このような表現は、施設能力が過大との誤解を招き、記載されている「施設整備等の施策に影響を与えない」との整合性がとれない。</p> <p>したがって、1 日最大給水量を算出するための基礎である 1 日平均給水量が、計画と実績で乖離がないということは何らかの形で示した方がよい。1 日最大給水量が計画値を下回ったとしても、1 日平均給水量が計画と実績で乖離がないのであれば、計画 1 日最大給水量は妥当なものであり、施設整備等の施策にも影響を与えないということが理解いただけるのではないかと。</p> <p>ただし、年間給水量、有収水量の推移は、今後、平成 26 年度まで減少する見込みであり、その後の見込みは記載されていないが、この傾向が続くようであれば、さらなる施設の効率化を求められる可能性も出てくるのではないかと。</p>
B 委員	<p>定員の適正化に関し、平成 23 年度に 7 名減少した職員数が、その後 24、25 年度と増えている。我々民間の感覚では人が減っていると効率が悪くなったと感じるが、効率化をうたいながら数字が上がっているのは納得し難い。</p>
総務課長	<p>計画期間の目標は 346 人であり、平成 23 年度には既に達成し、さらにそれ未満となった。目標未達となった原因は、年度末に急に職員が亡くなり、また、採用予定者が土壇場で採用を辞退したことである。23・24 年度は予定数を確保できずに欠員が生じているということである。</p>
B 委員	<p>結果的に見れば、343 人でもやっていけると言えるのではないかと。</p>

技術部長	<p>水道は装置産業であり、配水管や浄水場などの施設を常に更新して維持していかなければならない。こういう仕事をきちんとしていこうとすれば、設計から施工までを全て業者任せとするようなことなく、職員がしっかりと管理していく必要がある。そのために技術の継承に努め、この技術研修センターを造ったりして、人を育てながらやっている。</p> <p>業務を委託化して職員を削減すれば効率的、というのは一般論としてはあるだろうが、装置産業としてはそれではうまくいかず、必要な人員は確保しなければならないということをご理解いただきたい。</p>
B 委員	<p>そういった中身は分かったにしても、人件費は大きいから、職員数が増えるというのは心情的に釈然としないものがある。</p>
C 委員	<p>人材の確保と育成に関して「民間企業等職務経験者の採用」とあるが、「等」が付いているということは、民間だけではなく、同業者、例えば関東の水道局にいた人がUターン、Iターンで新潟に帰ってきたような場合も対象にしているということか。</p>
総務課長	<p>ほかの水道事業体の職員であった者が、この制度で試験を受けて合格し、採用されている。純粹に民間だけではなく他事業体の職員も受け入れる制度になっている。</p>
C 委員	<p>了解した。次にコールセンターの業務について受付件数が記載されているが、受付の中には具体的にどんなものが多いのか。また、照会よりも苦情が多いとか要望が多いとか、そういう集計したものは今手元にあるか。</p>
業務課長	<p>内訳は、料金に関するものとして引っ越しなどに伴う中止連絡や使用開始申込みが合わせて 60%くらいである。それ以外に、給水装置の修繕に関するものが約 12%、その他が約 28%である。苦情についても、料金関係の苦情が多い。</p>
D 委員	<p>料金関係の苦情に関してだが、私自身は、庭などへ散水した場合でも下水道使用料がかかることについて不満があるが、料金の不満というのは、水道料金と下水道使用料についての分かりにくさによるものが案外と多いのではないか。</p> <p>「水先案内」という広報紙はよくできているが、料金についての説明などが不足していると思う。特に、水道料金と下水道使用料の区分などについて市民の理解を深めるために、今度じっくりと掲載したらよいのではないか。</p>
E 委員	<p>青山浄水場の施設整備事業について、実施予定工事の工程見直しにより、ほかの事業も含めると 24 年度以降に工事の施工が集中してくるようになると思われる。現場で</p>

	<p>の進捗管理や安全対策、さらに浄水処理や水運用に対して問題は生じないのか。</p> <p>また、どのような理由でこの工程を見直して、先送りにしたのか記載がないのだが、その理由を伺いたい。</p>
技術部長	<p>青山浄水場施設整備事業の工程が遅れている原因については、先ほど話に出た人材の問題や放射能の影響もある。無理をして予定どおりやることはできたが、水を作りながらのことなので、安全・安心・安定供給を最優先するという観点から、工程を遅らせた。今後についても浄水処理や水運用に関して問題は生じない。</p>
E 委員	<p>そうであれば、それを明記しておいた方がよい。検討してほしい。</p>
技術部長	<p>了解した。</p>
E 委員	<p>水管橋の耐震化について、平成 25 年度までの計画を 1 年延期したということであれば、「26 年度までにはすべて計画どおり云々」という部分の「計画どおり」との記載は誤りであり、文言を変更すべきである。</p>
議長	<p>「26 年度までに、当初予定の更新及び補強工事を実施する」という文言にすればよい。</p>
E 委員	<p>次に、有収率の向上のための直接的な対策として、捨て水管理の徹底ということを挙げているが、有収率の向上というのは、基本的には漏水調査あるいは管路の適切な維持・更新の徹底だと思っている。たしかに捨て水も一つの手段だとは思いますが、あえて有収率向上策として取り上げることにについて大いに疑問に感じる。</p>
経営企画室長	<p>委員のおっしゃるとおり、これは全然違う趣旨である。捨て水管理というのは、管路の末端での水質悪化を防止するためのものであり、今の管網においては必ず必要なものである。</p> <p>有収率向上対策としての、この部分の記載を抹消する。</p>
技術部長	<p>有収率の目標 95%とは、合併により低下したものを合併前の旧新潟市の 95.3%くらいまで戻そうというものである。このためには、基本的に古い管を定期的に更新し、工事の際には確実に水圧試験をするといった非常に地道な作業をきっちりやっていく必要がある。時間はかかると思うが、確実な施工と施工管理をしていきながら 95%までもっていきたい。</p>
C 委員	<p>コスト削減への取組の中で、業務の委託化について「その他の業務についても検討を継続している」とのことだが、この検討については期限を定めて具体的にやっ</p>

<p>経営企画室長</p>	<p>ているのか。または、期限を定めないまでも、他都市の事例なども参考にして、延び延びにならないようにきちんと検討しているのか。</p> <p>水道事業を継続していくために、職員が担当すべきコアな部分、それ以外に切り離せる部分等について詰めていく必要がある。次期マスタープランにおいて、具体的計画を示していきたい。</p>
<p>議長</p>	<p>ほかに意見がなければ今回この計画の進捗状況の報告に対して、各委員から一定の評価、あるいは意見・提言をいただきたい。</p>
<p>F 委員</p>	<p>マスタープランの実施状況については、個々には何点か課題もあるが、全体的には非常にきちんとやっているのではないかと思います。今後も引き続き、この方向で進めていただければよいと思う。</p> <p>付け加えると、昨今、節水家電だとか人口減だとか、給水事業にとっては非常に厳しくなっており、新聞などを見ても、水道事業自体のリストラクチャリングなど、いろいろなことがテーマになっている。こういった厳しい事業環境の中で、新たな投資とか出費にかかわる、例えば浄水場の改修費などについては、もっと精査するとか、場合によっては外部コンサルタント等、外部からの意見を聞くなどして、局としてできる限りの検討をしてコスト削減に努めている、よりよい姿を目指している、といったところを示していただきたいと思う。</p>
<p>H 委員</p>	<p>各委員からの意見を踏まえていただければ、そのほかは概ねよろしいかと思う。少し外れるが、石綿セメント管の工事にあたって、どのような対策がとられているか。</p>
<p>技術部長</p>	<p>粉塵が出ないように、簡単にいえば、水をかけて濡らして撤去し、できる限り切断せずに継手ごと外して処分場へ持って行けるようにしている。基本的に埃を出さないのが原則である。</p>
<p>G 委員</p>	<p>資料中に、人口減による新たな需要予測やこれを踏まえた施設整備計画について云々との記載があるが、全体地図を見てみたら、本市は広く、将来的に限界集落ともいえるような地域も出てくるのではないかと思った。この辺をよく考えてやっていただきたい。飲む人がいて事業収入があることによって、事業が成り立つのだと思う。</p>
<p>I 委員</p>	<p>水道水に関するアンケートはどのような方法で 3,000 件をピックアップしたのか。</p>

総務課長	上水道を1年以上契約いただいている方の中から、各区ごとに人口割合に応じて無作為に選んだ。
I 委員	モニターを対象にするとか、他の方法もあるのではないか。
議長	偏りのないデータをとるには無作為で選ぶしかない。モニターのように比較的水に対して関心が高い人を対象にするなら、それは別枠でやらないといけない。当然、アンケートの内容も異なったものとなると思う。
B 委員	進捗状況は全体的にはよいと思う。より一層の効率化とコスト削減に努めてほしい。
A 委員	特に財政状況のあたりに興味があったのだが、財源とか損益収支、あるいは資本収支の方も計画と比較して非常によい状態できていると思う。ぜひ、この調子でやっていただきたいと思う。
D 委員	目標に対しての達成度等をみると、全体的にはスムーズに進んでいると思う。しかし、震災後の対応のように計画にない課題もプラスされてきているので、こういったところもしっかりとやっていただきたいと思う。
E 委員	<p>先ほども触れたが、全体的には順調に進捗していると見ている。引き続き、着実に事業を実施していただけるように期待している。</p> <p>ただし、先ほど損益収支、資本的収支の話も出たが、先送りされている事業がいくつかあり、そのために財政状況が現時点ではよくなっている面もある。この点も含めて局内でよく検討いただき、できるものは早めに行動するということが重要だと思う。</p>
C 委員	<p>不幸にも大震災や水害が発生し、職員の派遣等により本来の業務ができなかったこともあるかと思うが、遅れている分についてはそれを取り戻せるように頑張ってください。</p> <p>私は、新潟市の水は非常においしいと思う。阿賀野川、信濃川は大変な長距離を流れてきて、また水量も多いが、このような河川の水をおいしい水にして提供しているのは素晴らしいことだと思う。もっと水のおいしさをPRしてもよいのではないか。軟水で、pHも7.0から7.5程度であり、この程度がコーヒーや紅茶に適するとも言われている。ぜひ、蛇口からの水がそのまま安心して飲めることのPRをもっとやっていただきたい。</p>

議長	<p>最後に私の意見を述べさせてもらう。</p> <p>新潟市の浄水場は、昭和 39 年の新潟地震で大きなダメージを受け、それを当時としては先進的な試みも取り入れながら復旧した経緯がある。この経験は阪神淡路大震災やこの度の東日本大震災の応援活動にも活かされ、被災地にとってありがたい支援部隊になったことと思う。こういった点に誇りを持ち、経験を大事にしながら技術の継承に努めてほしい。技術継承は大変重要な視点だと思う。</p> <p>マスタープランに関しては、遅れ気味の部分もあるが、全体的には概ね順調に進捗しているという印象を持っている。</p> <p>私が日頃気にしていることに、学校現場で、水道の水を飲まずに家から水筒などを持ってくるということがある。先ほどの局からの報告にも「学校施設の水飲み水栓の直結給水化」があったが、日本の水道は世界に誇るべきシステムであり、豊富な水を背景にして非常に恵まれている条件・状況があることは他の国からは大変うらやましいことであり、このことは国の宝、財産だと思う。その中で教育の現場で、家から水を持っておいで、というのは情けない話だと思う。ぜひ教育委員会と連携して、少なくとも新潟市内の学校を全部直結化して、いつでも直接蛇口から水が飲める状況にしておいてもらいたい。</p> <p>それがまた、子どもたちに対し、今現在、日本の水はとても状況に恵まれていること、この水を大事にすることを体験的に教え込んでいく重要な手段になるだろうと思う。</p> <p>飲み水がすべてボトルで供給されるような状況には非常に違和感を持っている。子どもたちにとってもそれが常態化しつつあるのではないか。教育現場において蛇口から水が直接飲めるという状況があって、きちんと背景も含めて教育することが大変重要だと思う。教育委員会などよくお話しただいて、水道局だけでなく市全体の施策として取り組むくらいの動きがあってよいと思う。</p> <p>以上、私の意見である。</p> <p>それでは、局はこれまで各委員からの意見、提言を参考にし、今後の計画を進めていただきたい。局側からなにかあれば発言を。</p>
経営企画室長	<p>今日はお忙しいところ、長時間にわたりご審議いただき感謝する。いただいた評価や意見・提言については管理者に報告し、今後の事業運営に活かしていく。</p> <p>何人かの委員から指摘があった施策の先送りということについては、确实によりよい施設を目指す中で見直した部分もあることをご理解いただきたい。</p> <p>各委員からの意見や提言についてよく検討し、それに沿った事業運営ができるよう努め、着実に事業を実施していきたい。</p>
議長	<p>以上をもって、本日の審議を終了とする。</p> <p>————— 開会 17:10 —————</p>